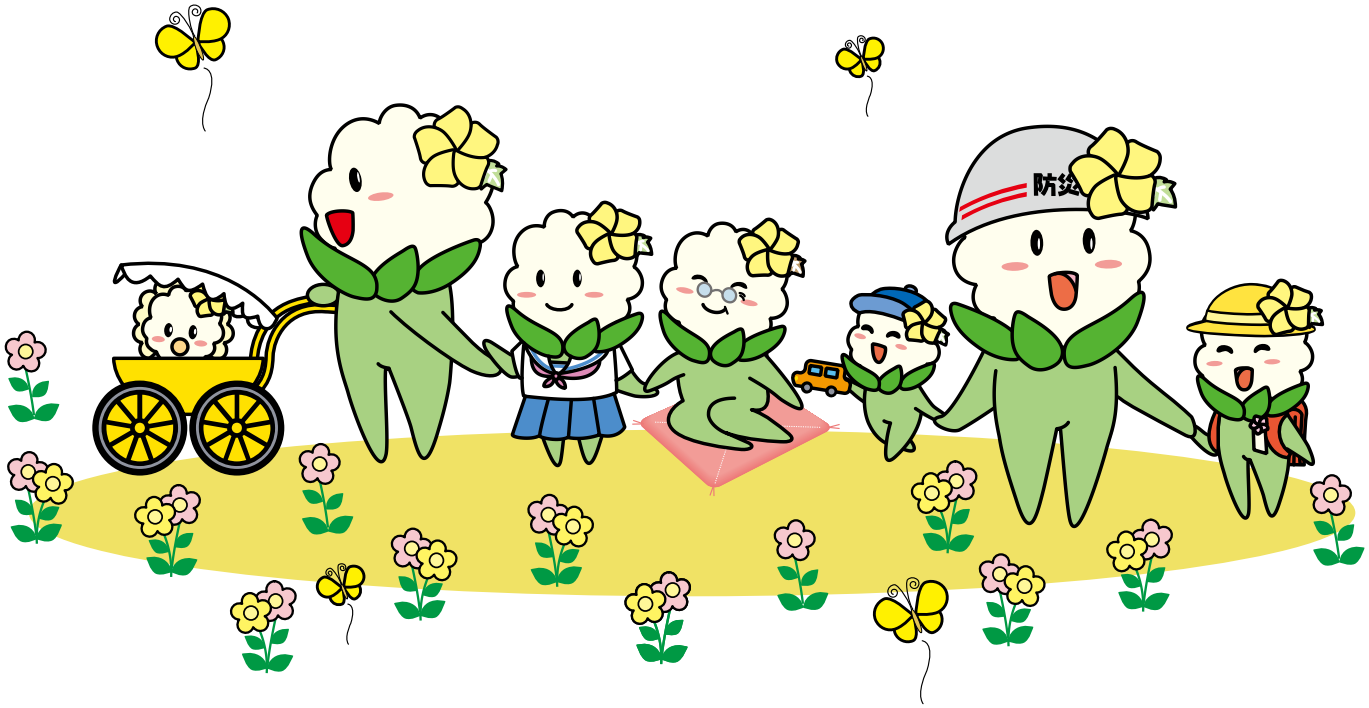
ひらの区民モニター　アンケート結果

令和４年度



平野区役所

【アンケートの概要】

○目的

平野区では、区民の皆様から区の事業などについてのご意見をうかがい、区政へ反映することを目的として、ひらの区民モニターアンケートを実施しています。実施方法としては、区内在住の 18 歳以上の方を対象として、住民基本台帳データから無作為に抽出した方々に、アンケートを送付させていただきました。

※本アンケート結果はあくまで回答者における回答状況を集計したものであり、区民全体の状況を表すものではありません。

○実施状況

調 査 期 間　：令和４年 10 月１日～同年 10 月 31 日

対　　象　：住民基本台帳より無作為に抽出した 18 歳～90 歳までの区民　3,000 名

調 査 方 法　：郵送

回 答 方 法　：郵送又はオンライン

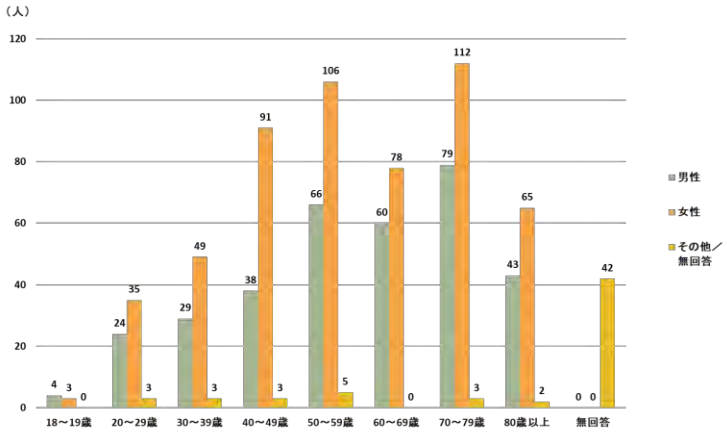
回 答 者 数　：

	無作為抽出者		
		郵送	オンライン
回答者数	943名	714名	229名
回答率	31.4%		

○回答者内訳

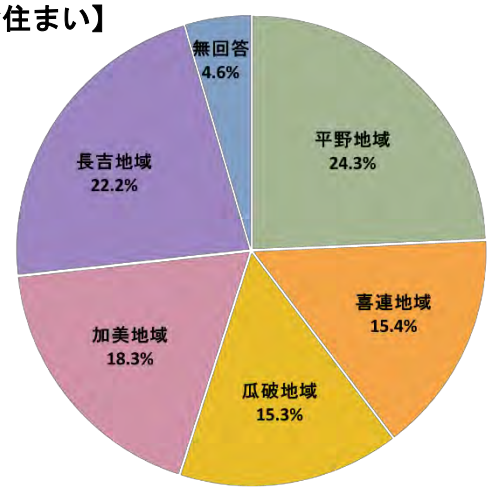
【年齢・性別】

		男性	女性	その他／無回答	合計(人)
年代	18～19歳	4	3	0	7
	20～29歳	24	35	3	62
	30～39歳	29	49	3	81
	40～49歳	38	91	3	132
	50～59歳	66	106	5	177
	60～69歳	60	78	0	138
	70～79歳	79	112	3	194
	80歳以上	43	65	2	110
	無回答	0	0	42	42
合計(人)		343	539	61	943
合計(%)		36.4%	57.2%	6.5%	100%



注）円グラフについては、小数点第 2 位を四捨五入しているため、場合によっては 100%とならないことがあります。

【お住まい】



【平野地域】

平野馬場・平野北・西脇・平野元町・平野上町・平野宮町

平野市町・背戸口・平野本町・平野東・平野西・流町・平野南

【喜連地域】

喜連西・喜連・喜連東

【瓜破地域】

瓜破西・瓜破・瓜破東・瓜破南

【加美地域】

加美北・加美正覚寺・加美東・加美西・加美鞍作・加美南

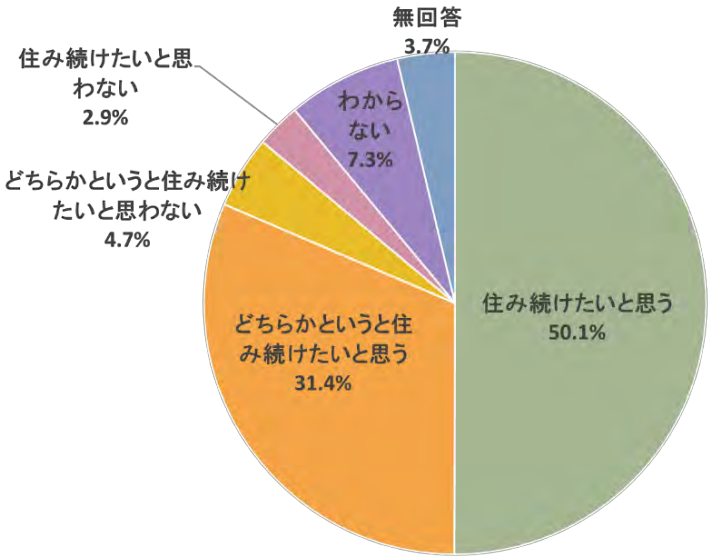
【長吉地域】

長吉出戸・長吉六反・長吉長原西・長吉長原・長吉長原東・長吉川辺

＜まちづくり関連＞

平野区役所では、「平野区将来ビジョン」において、平野区を次世代につなげていくため、各地域の特色ある魅力を多くの方に知っていただき、愛着を持って住み続けられる、区民ニーズに沿った魅力あるまちづくりを進めています。

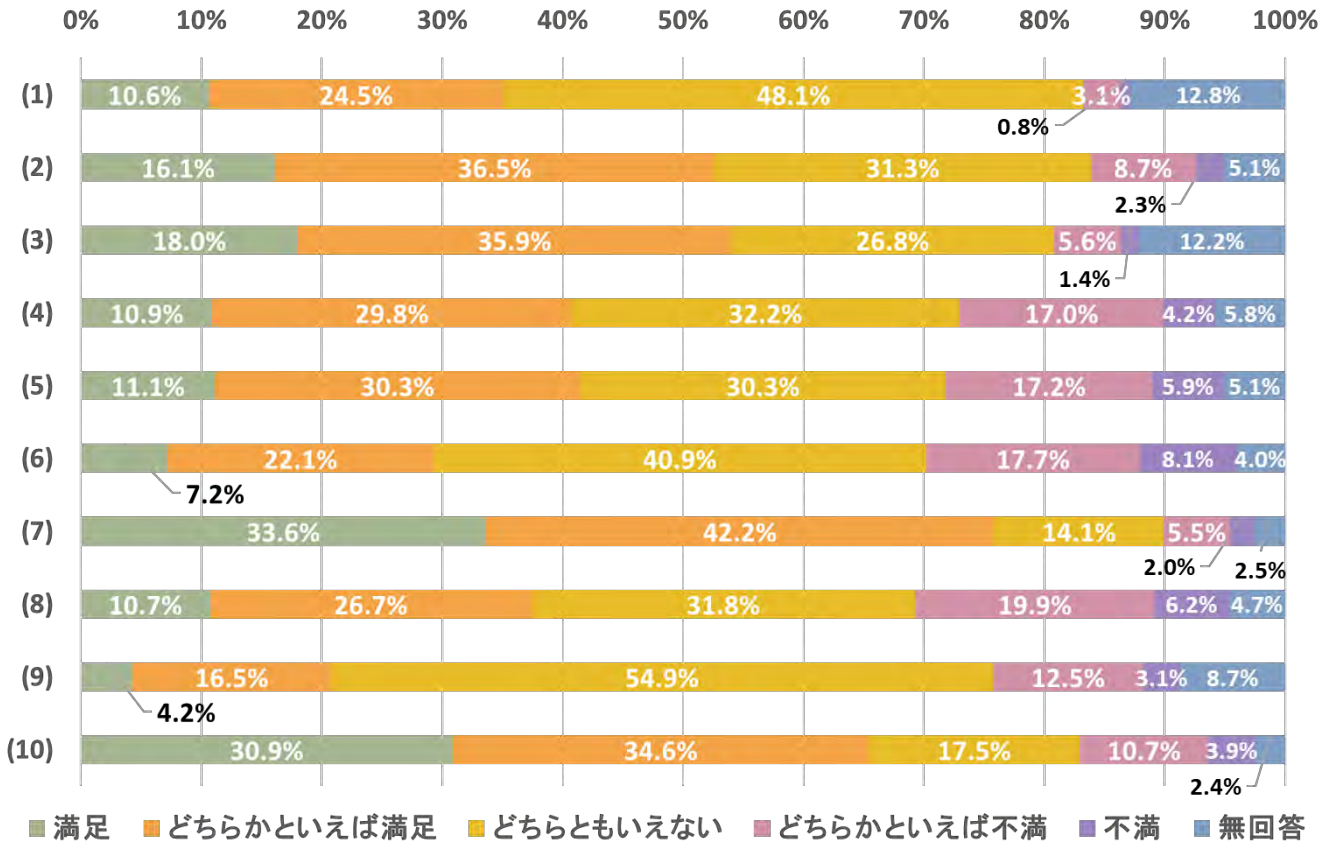
【問１】　これからも平野区に住み続けたいと思いますか？（１つだけ選択）



「住み続けたいと思う」、「どちらかというと住み続けたいと思う」があわせて81.5%となり、「どちらかというと住み続けたいと思わない」、「住み続けたいと思わない」は7.6%となっています。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
住み続けたいと思う	472	50.1%	4	17	27	54	81	72	122	74	21
どちらかというと住み続けたいと思う	296	31.4%	2	36	34	45	59	44	46	19	11
どちらかというと住み続けたいと思わない	44	4.7%	0	2	8	12	11	5	4	1	1
住み続けたいと思わない	27	2.9%	1	1	3	7	8	0	3	3	1
わからない	69	7.3%	0	5	6	12	16	11	10	5	4
無回答	35	3.7%	0	1	3	2	2	6	9	8	4
合　　計	943	100.0%	7	62	81	132	177	138	194	110	42

【問２】　あなたは、現在お住まいの環境にどの程度満足しておられますか？



〔回答項目〕

(1)幼稚園・保育所等の子育て施設　(2)病院への通院や介護施設等の利用　(3)職場や学校への通勤・通学

(4)公園や広場などの憩いの場　(5)散歩やジョギング等の回遊性、歩きやすさ　(6)治安・防災上の安心感

(7)食料品や日用品など日常の買い物　(8)洋服や家電製品など上記7以外の買い物

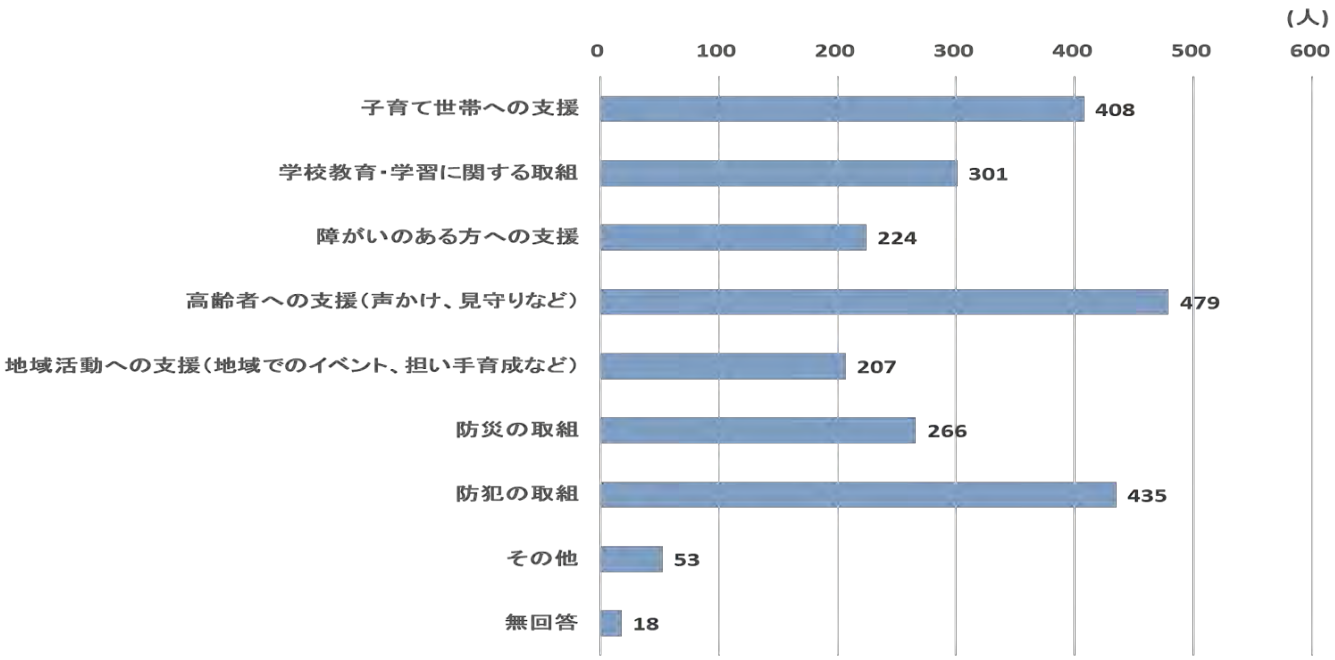
(9)趣味や習いごと等の活動　(10)地下鉄・バス等公共交通の利用しやすさ

現在の居住環境の満足度について、「(7) 食料品や日用品など日常の買い物」の肯定的回答率が75.8%、次いで、「(10) 地下鉄・バス等公共交通の利用しやすさ」が65.5%と高い割合であり、また、「(2) 病院への通院や介護施設等の利用」、「(3) 職場や学校への通勤・通学」についても、約半数の方が「満足」「どちらかといえば満足」との回答となっています。一方で、「(9) 趣味や習いごと等の活動」については25%以下となっており、満足度が低くなっています。

＜平野区将来ビジョン関連＞

平野区では、平野区将来ビジョンを策定し、あらゆるつながりを大切にした取組みをすすめることで、平野区につながるすべての人、一人ひとりが尊重される、『笑顔輝くまち ひらの』をめざしています。

【問３】　平野区が一層「笑顔 輝くまち ひらの」となるためには、どの取組により力をいれるべきだと思いますか？（３つまで選択）



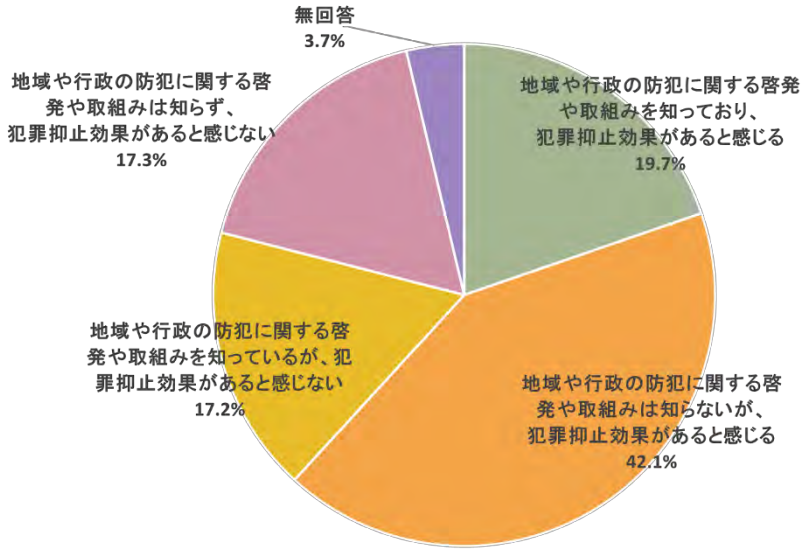
「高齢者への支援」が 479 人と最も多く、次いで「防犯の取組」（435 人）、「子育て世帯への支援」（408 人）、「学校教育・学習に関する取組」（301 人）、「防災の取組」（266 人）、「障がいのある方への支援」（224 人）、「地域活動への支援」（207 人）となっています。その他としては、交通マナー向上のための取組、インフラ整備や商業施設の誘致等のご意見がありました。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
子育て世帯への支援	408	17.1%	5	50	60	65	59	55	65	36	13
学校教育・学習に関する取組	301	12.6%	4	30	38	66	50	40	44	19	10
障がいのある方への支援	224	9.4%	1	8	13	31	38	40	48	35	10
高齢者への支援（声かけ、見守りなど）	479	20.0%	2	15	14	44	77	89	133	77	28
地域活動への支援（地域でのイベント、担い手育成など）	207	8.7%	2	9	11	32	41	22	49	30	11
防災の取組	266	11.1%	1	19	22	38	57	31	62	27	9
防犯の取組	435	18.2%	3	26	36	62	109	68	81	35	15
その他	53	2.2%	0	1	6	7	10	6	9	11	3
無回答	18	0.8%	0	0	1	0	1	2	5	7	2
合　　計	2,391	100.0%	18	158	201	345	442	353	496	277	101

＜防犯関連＞

平野区では、安全安心のまちづくりを推進するため、地域、区役所、警察が連携し、地域全体で犯罪を発生させないよう、防犯パトロールや特殊詐欺被害防止等の啓発に取り組んでいます。その結果、平野区の「大阪重点犯罪（抜粋）等発生件数」は、令和３年度には 10 年前の半数以下である 828 件に減少しています。

【問４】　あなたは、このような平野区での取組みを知っており、それらが犯罪発生抑止に効果があると感じますか？（１つだけ選択）

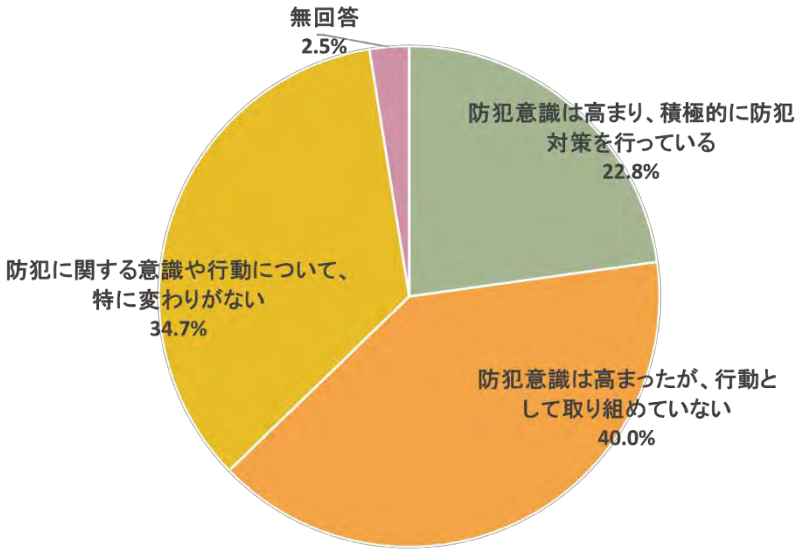


「取組みを知っており、犯罪抑止効果があると感じる」、「取組みは知らないが、犯罪抑止効果があると感じる」があわせて 61.8%となり、「取組みを知っているが、犯罪抑止効果があると感じない」、「取組みを知らず、犯罪抑止効果があると感じない」は 34.5%の割合となっています。

引き続き関係機関との連携のもと、安全で安心なまちづくりを進めてまいります。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
地域や行政の防犯に関する啓発や取組みを知っており、犯罪抑止効果があると感じる	186	19.7%	1	4	11	24	28	35	50	27	6
地域や行政の防犯に関する啓発や取組みは知らないが、犯罪抑止効果があると感じる	397	42.1%	2	36	40	52	77	52	74	43	21
地域や行政の防犯に関する啓発や取組みを知っているが、犯罪抑止効果があると感じない	162	17.2%	2	8	13	26	31	23	35	15	9
地域や行政の防犯に関する啓発や取組みは知らず、犯罪抑止効果があると感じない	163	17.3%	2	14	16	30	39	22	25	12	3
無回答	35	3.7%	0	0	1	0	2	6	10	13	3
合　　計	943	100.0%	7	62	81	132	177	138	194	110	42

【問５】　日々新たな手口の犯罪が発生していることに対し、平野区ではこのような取組みを行っていますが、あなた自身の防犯に対する意識の高まりを感じますか？（１つだけ選択）



「防犯意識は高まり、積極的に防犯対策を行っている」、「防犯意識は高まったが、行動として取り組めていない」を合わせると、防犯意識が高まった方は 62.8%となり、「防犯意識や行動に変わりがない」は 34.7%の割合となっています。

今後も防犯意識向上のための啓発を積極的に行ってまいります。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
防犯意識は高まり、積極的に防犯対策を行っている	215	22.8%	5	10	19	27	44	30	46	29	5
防犯意識は高まったが、行動として取り組めていない	377	40.0%	2	23	34	50	74	66	72	35	21
防犯に関する意識や行動について、特に変わりがない	327	34.7%	0	29	27	55	59	39	68	36	14
無回答	24	2.5%	0	0	1	0	0	3	8	10	2
合　　計	943	100.0%	7	62	81	132	177	138	194	110	42

＜防災関連＞

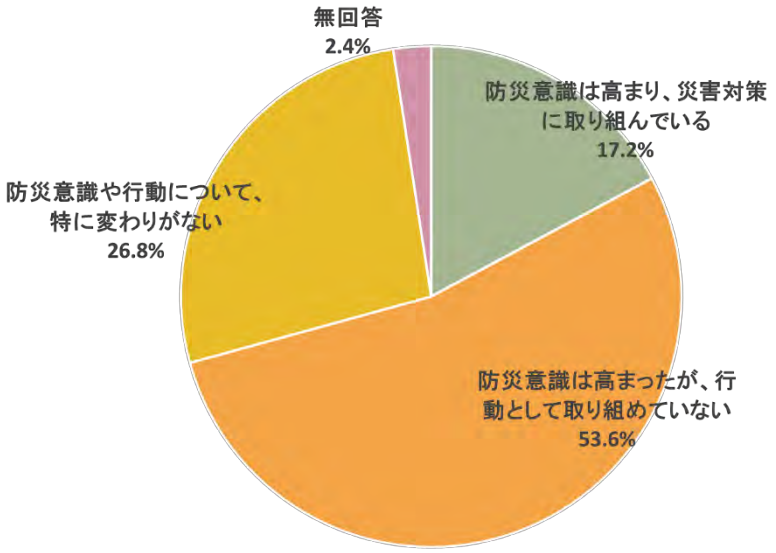
平野区では、災害に強いまちづくりをめざし、区民へ向けて「自助」「共助」の意識向上に向けた取組みを進めています。地域で実施している防災訓練や学校で行う土曜授業をはじめ、ハザードマップの全戸配布や、区広報紙を通じてローリングストックの取組みや、区ホームページを通じて避難情報の発令のタイミングに関わる河川の水位などを紹介しています。

自助：個人や家族を中心とする備え
（防災マップやハザードマップからの情報収集・家具転倒防災対策・食料品等の備蓄など）

共助：住民・学校・企業を中心とする備え
（地域・学校等で行われている防災訓練など）

公助：行政及び関係機関を中心とする備え

【問６】　近年多発する自然災害に対して、平野区ではこのような取組みを行っていますが、あなた自身の防災に関する意識の高まりを感じますか？（１つだけ選択）

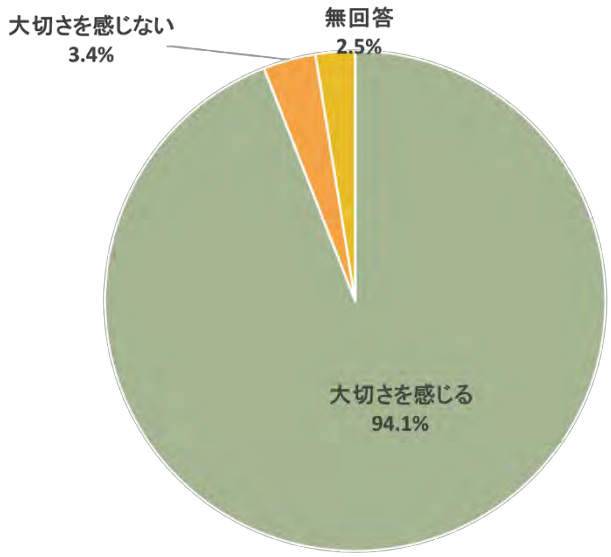


「防災意識は高まり、災害対策に取り組んでいる」、「防災意識は高まったが、行動として取り組めていない」を合わせると、防災意識が高まった方は 70.8%となり、「防災意識や行動に変わりがない」は 26.8%の割合となっています。

しかしながら、半数を超える方が行動として取り組めていないと回答されているため、効果的な啓発手法について検討するとともに、引き続き防災対策について発信してまいります。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
防災意識は高まり、災害対策に取り組んでいる	162	17.2%	3	10	17	22	32	21	32	19	6
防災意識は高まったが、行動として取り組めていない	505	53.6%	3	28	44	75	94	87	100	54	20
防災意識や行動について、特に変わりがない	253	26.8%	1	24	19	35	50	29	53	30	12
無回答	23	2.4%	0	0	1	0	1	1	9	7	4
合　　計	943	100.0%	7	62	81	132	177	138	194	110	42

【問７】　あなたは、このような自助・共助の取組みの大切さを感じますか？（１つだけ選択）



「大切さを感じる」が 94.1%、「大切さを感じない」が 3.4%となっています。引き続き、「自助・共助」を基本にした災害に備える体制が確立されるよう取組みを推進してまいります。

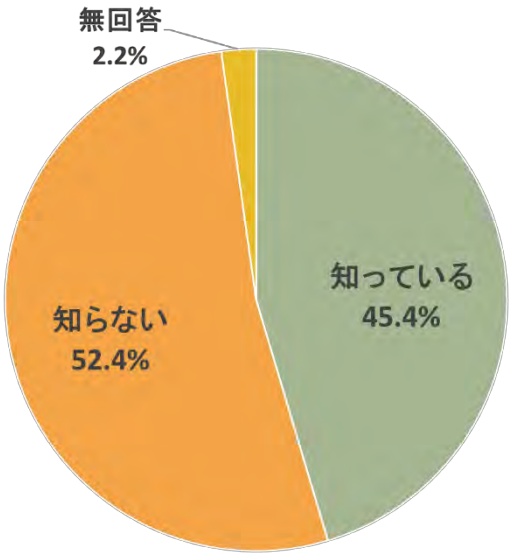
項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
大切さを感じる	887	94.1%	7	58	78	130	170	128	179	103	34
大切さを感じない	32	3.4%	0	4	2	2	4	9	7	0	4
無回答	24	2.5%	0	0	1	0	3	1	8	7	4
合　　計	943	100.0%	7	62	81	132	177	138	194	110	42

＜地域活動協議会関連＞

平野区内には、おおむね小学校区を範囲として、地域団体やＮＰＯ、企業など地域のまちづくりに関するさまざまな団体が集まり、話し合い、協力しながら、地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいくための仕組みである「地域活動協議会」が 23 地域あります。

地域活動協議会の活動例：防災訓練、青色防犯パトロール、登下校の見守り、
高齢者食事サービス、ふれあい喫茶、地域のお祭り　など

【問８－１】　この「地域活動協議会」のことを知っていますか？

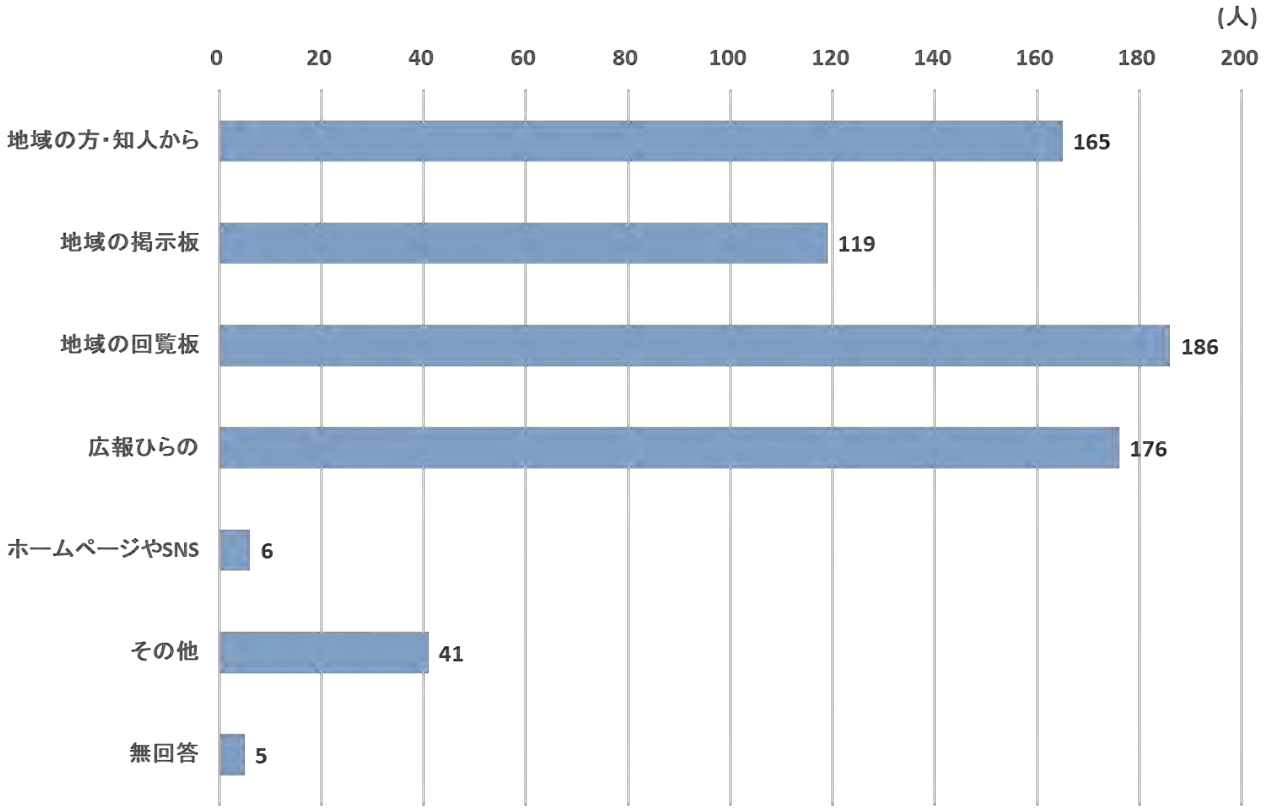


「知っている」が 45.4%、「知らない」が 52.4%の割合となっています。
まだ認知度が低いため、広く知っていただけるよう引き続き周知を行ってまいります。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
知っている	428	45.4%	3	14	22	53	71	73	115	59	18
知らない	494	52.4%	4	48	58	79	104	63	75	41	22
無回答	21	2.2%	0	0	1	0	2	2	4	10	2
合　　計	943	100.0%	7	62	81	132	177	138	194	110	42

【問８－２】　問８－１で「(1)知っている」と回答した方にお聞きします。

地域活動協議会を何でお知りになりましたか？（複数選択可）

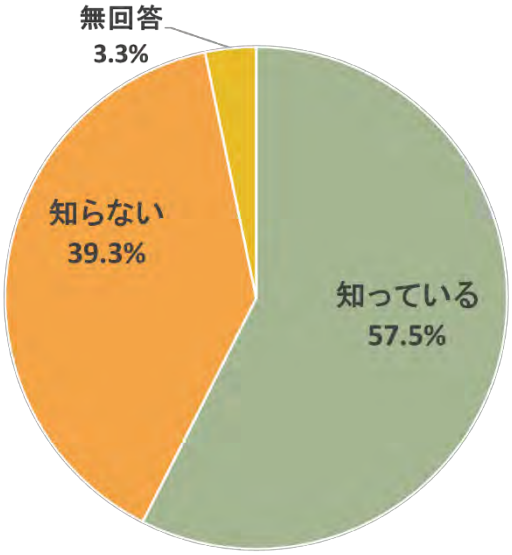


「地域の回覧板」が 186 人と最も多く、次いで「広報ひらの」（176 人）、「地域の方・知人から」（165 人）、「地域の掲示板」（119 人）となっています。その他としては、登下校の見守り活動を見かけた、ふれあい喫茶活動で知った等のご意見がありました。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
地域の方･知人から	165	23.6%	3	6	7	17	27	20	45	33	7
地域の掲示板	119	17.0%	2	3	3	18	23	18	32	18	2
地域の回覧板	186	26.6%	2	3	7	20	26	33	65	22	8
広報ひらの	176	25.2%	1	6	10	15	31	35	45	27	6
ホームページやSNS	6	0.9%	0	2	1	1	1	0	1	0	0
その他	41	5.9%	0	0	4	6	8	12	7	3	1
無回答	5	0.7%	0	0	0	2	0	0	1	2	0
合　　計	698	100.0%	8	20	32	79	116	118	196	105	24

【問８－３】　問８－１で「(1)知っている」と回答した方にお聞きします。

地域活動協議会の活動内容を知っていますか？



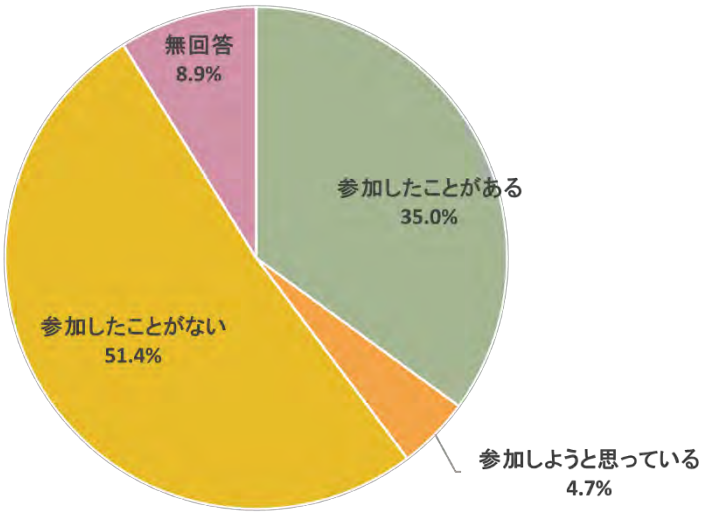
「知っている」が 57.5%、「知らない」が 39.3%の割合となっています。

地域活動協議会を知っていても、活動内容を知らない方がいらっしゃるため、活動内容も含め知っていただけるよう、周知に努めてまいります。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
知っている	246	57.5%	2	2	11	24	44	44	74	36	9
知らない	168	39.3%	1	12	11	25	26	29	37	18	9
無回答	14	3.3%	0	0	0	4	1	0	4	5	0
合　　計	428	100.0%	3	14	22	53	71	73	115	59	18

【問８－４】　問８－１で「(1)知っている」と回答した方にお聞きします。

地域活動協議会が主催するお祭りなどの催しや防災訓練、防犯の活動に参加したことがありますか？（１つだけ選択）



「参加したことがある」35.0%、「参加しようと思っている」4.7%と合わせると、参加への意向がある方は約 40%となり、一方で「参加したことがない」は 51.4%となっています。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
参加したことがある	150	35.0%	1	1	5	18	20	27	52	21	5
参加しようと思っている	20	4.7%	0	0	0	2	2	6	6	4	0
参加したことがない	220	51.4%	2	8	13	22	47	35	49	34	10
無回答	38	8.9%	0	5	4	11	2	5	8	0	3
合　　計	428	100.0%	3	14	22	53	71	73	115	59	18

＜生涯学習関連＞

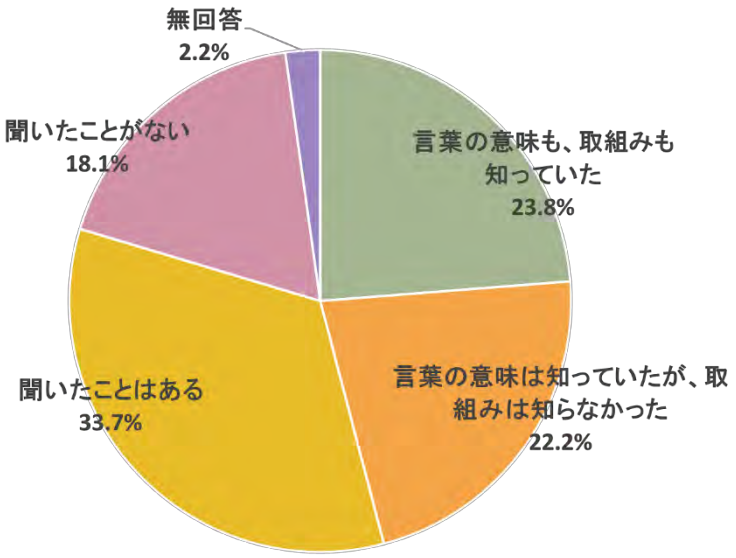
一人一人が自らの興味・関心と必要に応じて、自分に適した手段・方法を選び、進んで行う学習活動を「生涯学習」といいます。

「生涯学習」の例として、学校教育のほかに、スポーツ活動、文化活動、趣味・娯楽、ボランティア活動、レクリエーション活動など幅広い学習があげられます。

大阪市では、「生涯学習」を単に趣味やお稽古事として学習するだけではなく、学んだ知識等をまちづくりに活かし課題を解決していく力になるよう生涯学習施策を進めてきました。

平野区においても、生涯学習ルーム事業として、区内の小学校などを活用して、区民の自主的な文化・学習活動や交流活動の場を提供するとともに、身近な講座等の開催を通じて、学習機会の提供をおこなっています。

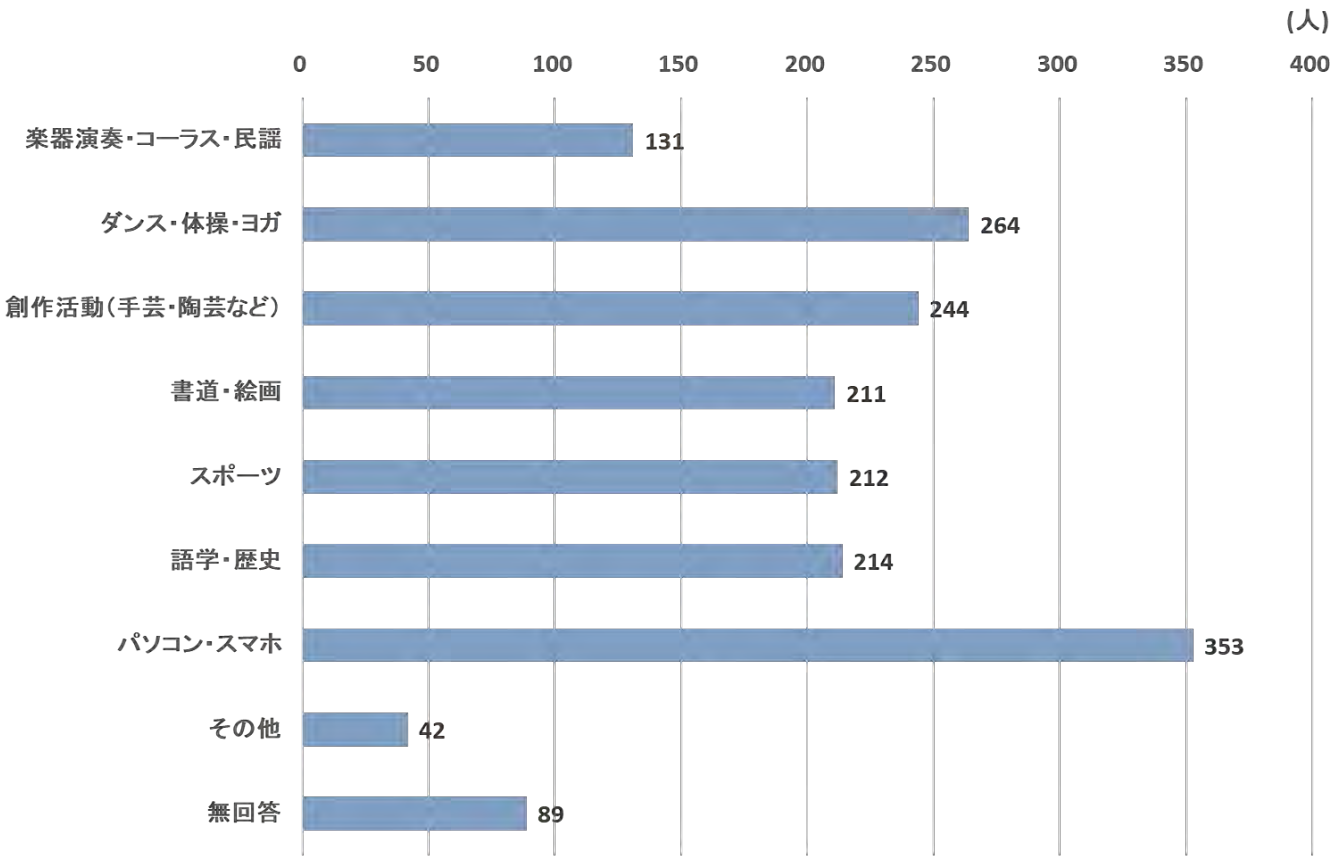
【問９－１】　「生涯学習」についてご存知でしたか？（１つだけ選択）



約 80%が「生涯学習」という言葉は聞いたことがあるという結果になりましたが、「言葉の意味も、取組みも知っていた」は 23.8%となっています。今後も平野区で行う取組みについて、より多くの方に知っていただけるよう周知してまいります。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
言葉の意味も、取組みも知っていた	224	23.8%	3	5	11	32	45	38	53	27	10
言葉の意味は知っていたが、取組みは知らなかった	209	22.2%	0	15	20	28	40	37	36	22	11
聞いたことはある	318	33.7%	0	22	28	49	67	41	62	40	9
聞いたことがない	171	18.1%	4	19	21	23	24	20	36	17	7
無回答	21	2.2%	0	1	1	0	1	2	7	4	5
合　　計	943	100.0%	7	62	81	132	177	138	194	110	42

【問９－２】　「生涯学習」としてどういったことを学んでみたいですか？（複数選択可）



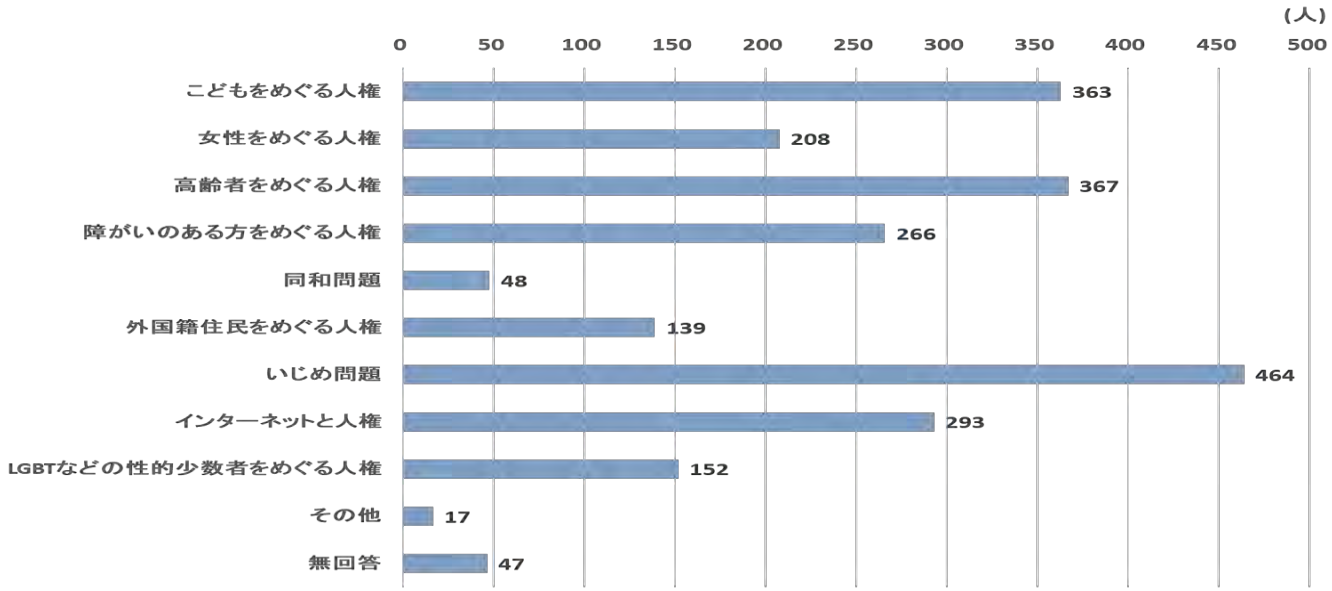
「パソコン・スマホ」が 353 人と最も多く、次いで「ダンス・体操・ヨガ」（264 人）、「創作活動（手芸・陶芸など）」（244 人）、「語学・歴史」（214 人）、「スポーツ」（212 人）、「書道・絵画」（211 人）、「楽器演奏・コーラス・民謡」（131 人）となっています。その他としては、手話、料理や家庭菜園、茶道や華道等のご意見がありました。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
楽器演奏･コーラス･民謡	131	7.4%	1	13	11	16	28	19	28	10	5
ダンス･体操･ヨガ	264	15.0%	1	23	31	48	56	42	37	15	11
創作活動（手芸･陶芸など）	244	13.9%	3	19	31	43	50	28	40	23	7
書道･絵画	211	12.0%	2	21	18	37	31	33	45	17	7
スポーツ	212	12.0%	4	21	27	46	48	22	32	7	5
語学･歴史	214	12.2%	4	18	23	32	53	27	30	21	6
パソコン･スマホ	353	20.1%	1	21	20	50	76	64	70	37	14
その他	42	2.4%	0	1	3	2	12	5	7	9	3
無回答	89	5.1%	0	0	5	4	12	11	27	18	12
合　　計	1,760	100.0%	16	137	169	278	366	251	316	157	70

＜人権啓発関連＞

平野区では、毎年テーマを決めて、人権啓発事業として、区民まつりへのブース出展、人権週間（12 月４日～12 月 10 日）での街頭啓発と人権フェスティバル（人権啓発イベント）の開催などを行っています。

【問 10】　今後取り組むべきだと思うテーマは何ですか？（複数選択可）



「いじめ問題」が 464 人と最も多く、次いで「高齢者をめぐる人権」（367 人）、「こどもをめぐる人権」（363 人）、「インターネットと人権」（293 人）、「障がいのある方をめぐる人権」（266 人）、「女性をめぐる人権」（208 人）となっています。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
こどもをめぐる人権	363	15.4%	3	34	42	59	67	55	65	24	14
女性をめぐる人権	208	8.8%	2	24	33	33	42	28	34	9	3
高齢者をめぐる人権	367	15.5%	1	18	13	36	60	67	95	62	15
障がいのある方をめぐる人権	266	11.3%	2	21	21	40	46	52	47	25	12
同和問題	48	2.0%	0	5	3	13	8	7	9	1	2
外国籍住民をめぐる人権	139	5.9%	2	14	14	23	26	19	24	13	4
いじめ問題	464	19.6%	4	34	43	71	95	72	95	36	14
インターネットと人権	293	12.4%	5	27	36	50	81	40	31	11	12
LGBTなどの性的少数者をめぐる人権	152	6.4%	3	28	22	30	30	18	13	5	3
その他	17	0.7%	0	1	0	3	4	1	3	3	2
無回答	47	2.0%	0	0	3	4	2	5	17	11	5
合　　計	2,364	100.0%	22	206	230	362	461	364	433	200	86

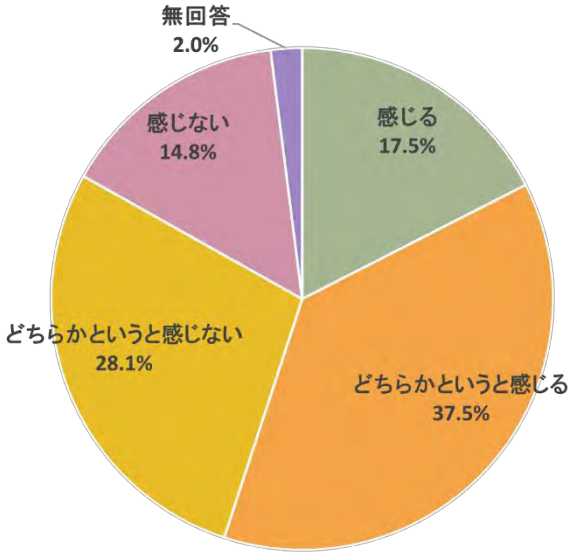
＜地域福祉関連＞

平野区役所では、「平野区地域福祉計画」を策定し、こどもから高齢者まで、すべての人と人とがつながり、支えあうまちづくりに向けて、取組みを進めています。

この計画では、皆さんがお住まいの地域でお互いを尊重しつつ、支援が必要な人を地域ぐるみで支えていけるよう、地域の皆さんとともに行う取組みを通じた地域福祉の向上をめざしています。

近年、近隣の方同士や地域内でお互いに支えあうことがますます重要になってきており、ご近所でのお声かけや見守り活動、ふれあい喫茶、食事サービスなどを実施されている地域もあります。人と人とがつながり助けあい、支援が必要な人を地域で支える、これらの活動（地域福祉活動）について、お尋ねします。

【問 11－１】　あなたは、お住まいの地域の方と「つながっている」と感じますか？
（例：日頃のあいさつ、近所付き合いをしている、回覧板を声かけして渡す、町会などの行事に参加する）（１つだけ選択）

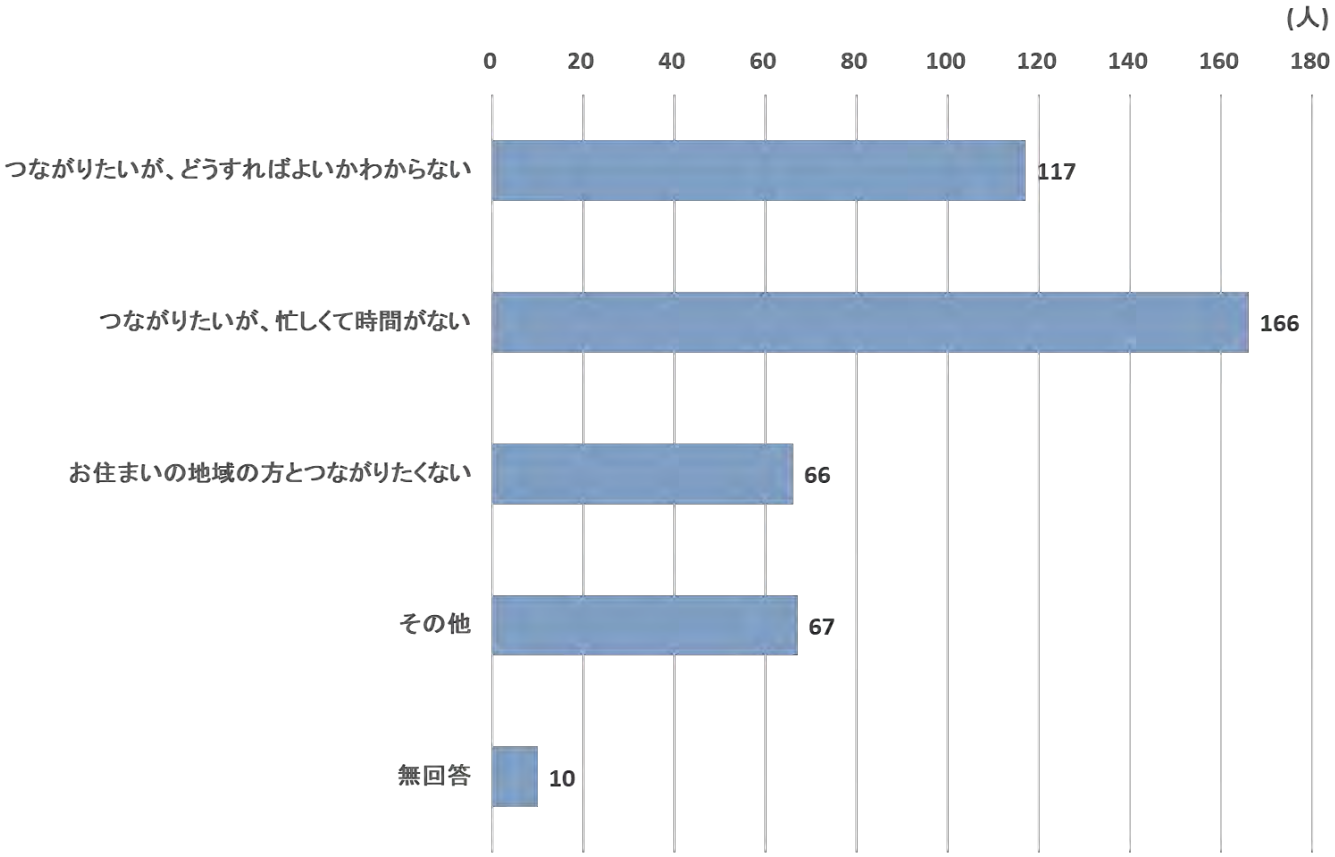


「感じる」、「どちらかというと感じる」があわせて 55.0%であり、「どちらかというと感じない」、「感じない」が 42.9%となっています。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
感じる	165	17.5%	2	3	6	14	22	24	56	32	6
どちらかというと感じる	354	37.5%	5	19	26	55	67	52	78	41	11
どちらかというと感じない	265	28.1%	0	22	32	41	56	47	38	16	13
感じない	140	14.8%	0	18	16	22	30	15	19	12	8
無回答	19	2.0%	0	0	1	0	2	0	3	9	4
合　　計	943	100.0%	7	62	81	132	177	138	194	110	42

【問 11－２】　問 11－１で「(3) どちらかというと感じない　(4) 感じない」と回答した方にお聞きします。

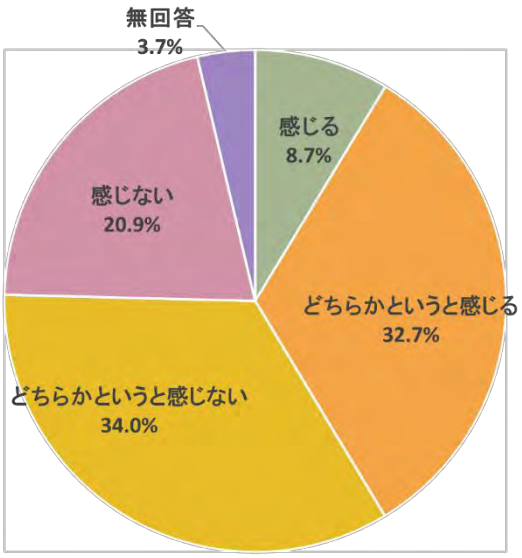
その理由はどういったことですか？（複数選択可）



「つながりたいが、忙しくて時間がない」が 166 人と最も多く、次いで「つながりたいが、どうすればよいかわからない」（117 人）、「お住まいの地域の方とつながりたくない」（66 人）となっています。「お住まいの地域の方とつながりたくない」の理由としては、トラブルに巻き込まれたくない、人付き合いが苦手、必要性を感じない等のご意見があり、その他としては、マンション住まいで地域とのつながりが薄い、あいさつはするが多くの人とつながりをもちたいとは思わない等のご意見がありました。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
つながりたいが、どうすればよいかわからない	117	27.5%	0	9	10	19	17	19	25	9	9
つながりたいが、忙しくて時間がない	166	39.0%	0	16	29	32	41	29	12	3	4
お住まいの地域の方とつながりたくない	66	15.5%	0	9	7	13	18	7	5	5	2
その他	67	15.7%	0	6	5	2	13	10	16	12	3
無回答	10	2.3%	0	1	1	0	2	1	1	1	3
合　　計	426	100.0%	0	41	52	66	91	66	59	30	21

【問 12－１】　あなたの隣近所では助けあい活動が行われていると感じますか？
（例：こどもや高齢者などへの声かけや見守り、お手伝いの必要な方の荷物の持ち運び、買い物のお手伝いなど）（１つだけ選択）

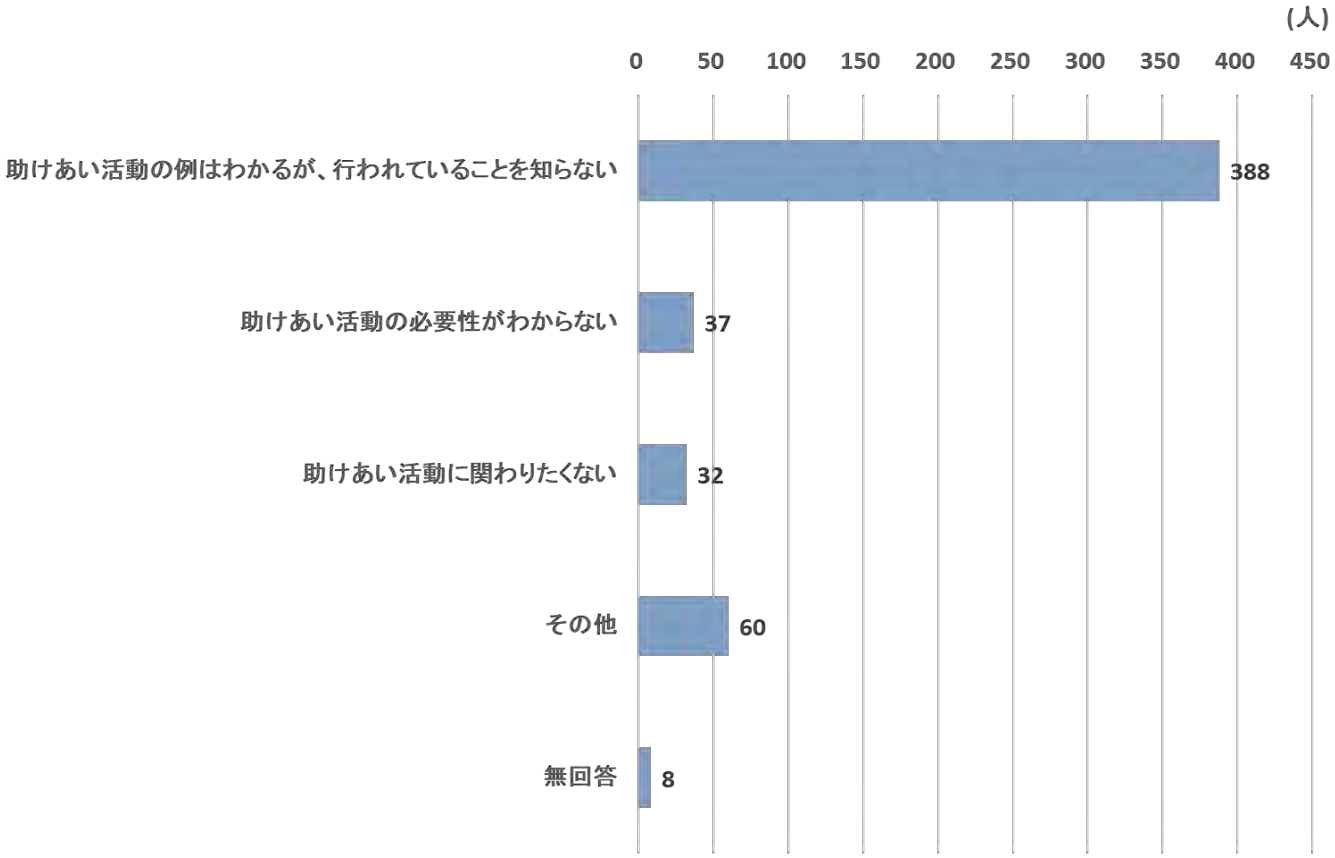


「感じる」「どちらかというと感じる」があわせて 41.4%となり、「どちらかというと感じない」「感じない」が 54.9%となっています。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
感じる	82	8.7%	2	4	4	6	10	9	26	17	4
どちらかというと感じる	308	32.7%	4	20	23	55	47	49	66	34	10
どちらかというと感じない	321	34.0%	1	17	31	40	78	50	63	28	13
感じない	197	20.9%	0	21	19	31	39	27	29	22	9
無回答	35	3.7%	0	0	4	0	3	3	10	9	6
合　　計	943	100.0%	7	62	81	132	177	138	194	110	42

【問 12－２】　問 12－１で「(3)どちらかというと感じない　(4)感じない」と回答した方にお聞きします。

その理由はどういったことですか？　（複数選択可）

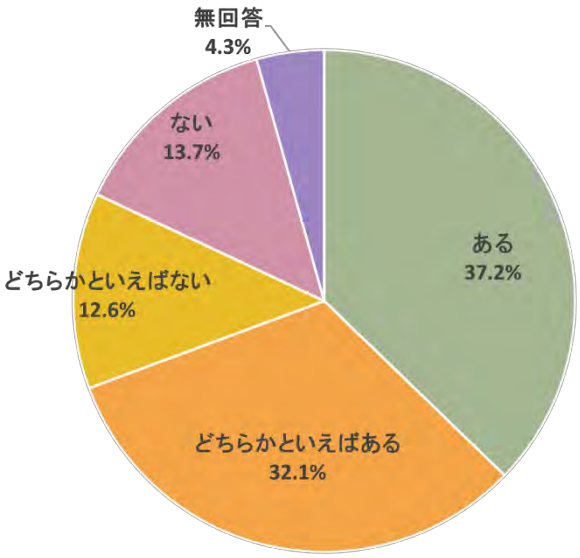


「助けあい活動の例はわかるが、行われていることを知らない」が 388 人と最も多く、次いで「助けあい活動の必要性がわからない」（37 人）、「助けあい活動に関わりたくない」（32 人）となっています。「助けあい活動に関わりたくない」の理由としては、余計なお世話だと思われるかもしれない、活動に参加したいが時間がない等のご意見があり、その他としては、近所で活動を見かけたことがない、近所付き合いがない等のご意見がありました。

人と人とがつながり、地域内でお互いが支えあうまちづくりの重要性について、引き続き周知に努めてまいります。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
助けあい活動の例はわかるが、行われていることを知らない	388	73.9%	1	30	42	47	90	59	70	31	18
助けあい活動の必要性がわからない	37	7.0%	0	2	1	8	4	5	9	7	1
助けあい活動に関わりたくない	32	6.1%	0	1	4	7	8	4	3	5	0
その他	60	11.4%	0	4	4	9	14	10	9	7	3
無回答	8	1.5%	0	1	0	0	2	1	2	1	1
合　　計	525	100.0%	1	38	51	71	118	79	93	51	23

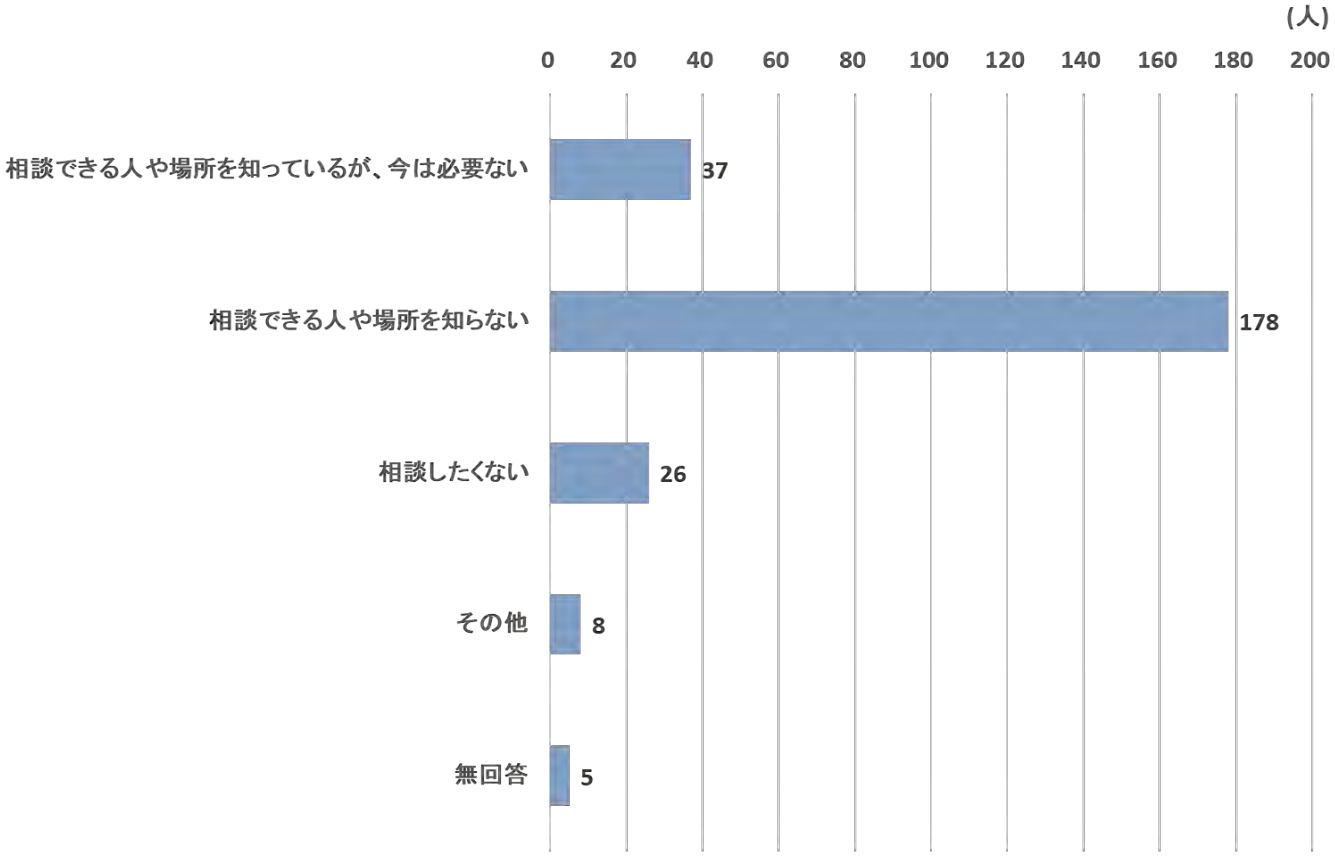
【問 13－１】　あなたは、子育てや家事・介護、仕事のことなど生活の困りごとや悩みがあるとき、相談できる人や場所がありますか？（１つだけ選択）



「ある」「どちらかといえばある」が半数以上の 69.3%となり、「どちらかといえばない」「ない」が 26.3%となっています。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
ある	351	37.2%	2	29	38	47	54	54	67	48	12
どちらかといえばある	303	32.1%	3	16	27	43	67	41	68	29	9
どちらかといえばない	119	12.6%	1	8	7	20	29	16	23	13	2
ない	129	13.7%	1	8	7	20	23	23	26	11	10
無回答	41	4.3%	0	1	2	2	4	4	10	9	9
合　　計	943	100.0%	7	62	81	132	177	138	194	110	42

【問 13－２】　問 13－１で「(3) どちらかといえばない　(4) ない」と回答した方にお聞きします。
その理由はどういったことですか？（複数選択可）



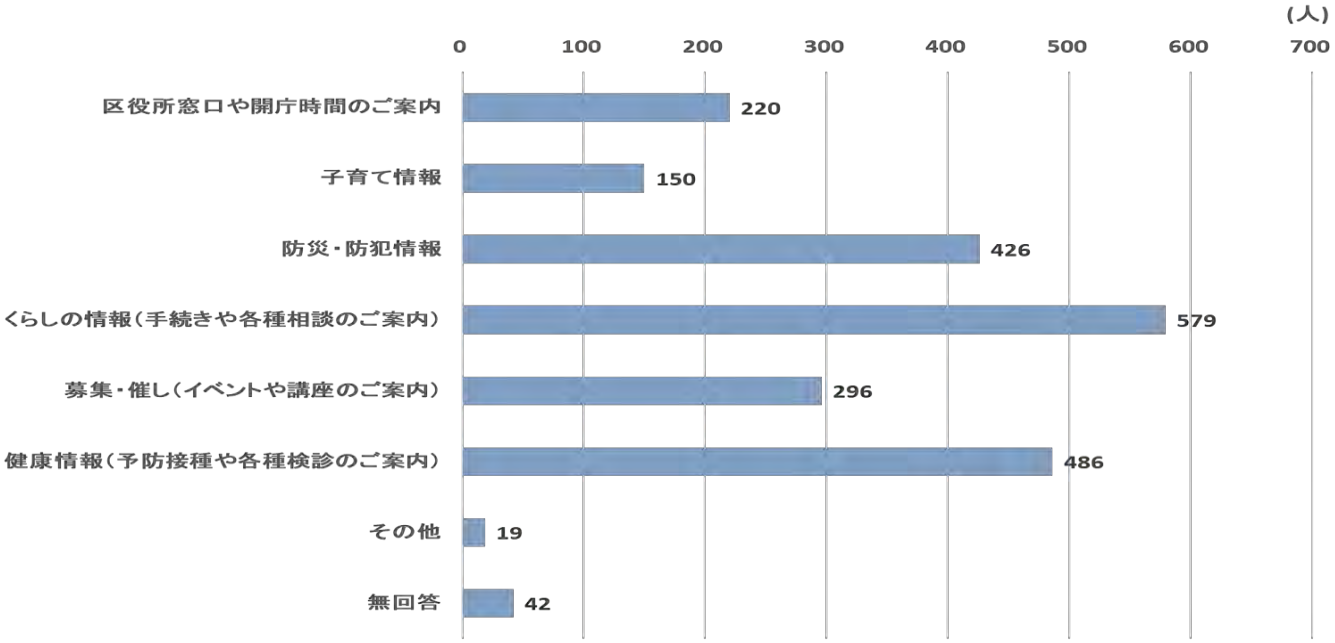
「相談できる人や場所を知らない」が 178 人と最も多く、次いで「相談できる人や場所を知っているが、今は必要ない」（37 人）、「相談したくない」（26 人）となっています。「相談したくない」の理由としては、相談相手に迷惑をかけたくない、プライバシーが守られないと感じる等のご意見があり、その他としては、相談しても何も変わらないと感じるといったご意見がありました。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
相談できる人や場所を知っているが、今は必要ない	37	14.6%	0	1	1	3	5	4	10	10	3
相談できる人や場所を知らない	178	70.1%	1	14	10	30	37	30	34	13	9
相談したくない	26	10.2%	1	1	1	7	6	5	4	1	0
その他	8	3.1%	0	1	0	1	4	1	1	0	0
無回答	5	2.0%	0	0	2	0	1	1	0	1	0
合　　計	254	100.0%	2	17	14	41	53	41	49	25	12

＜情報発信関連＞

区民が主体のまちづくりを区民に最も身近な存在である区役所として支援するため、地域に根ざし親しまれる区役所となるよう、情報発信など、さまざまな取組みを行っています。
広報紙「広報ひらの」は令和２年５月より区内すべてのご家庭・事業所に１部ずつお届けしています。

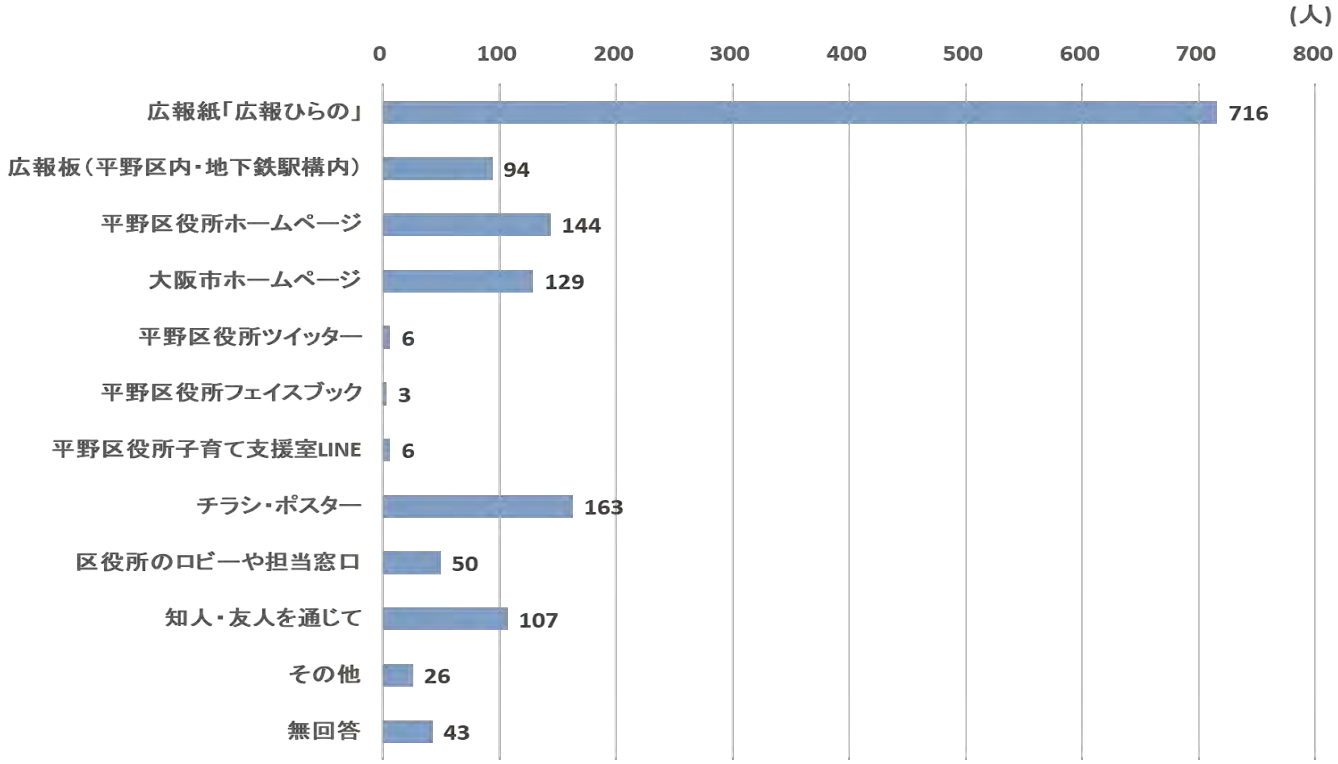
【問 14】　区役所が発信する情報について、どの項目に興味がありますか？（複数選択可）



「くらしの情報」が 579 人と最も多く、次いで「健康情報」（486 人）、「防災・防犯情報」（426 人）、「募集・催し」（296 人）、「区役所窓口や開庁時間のご案内」（220 人）、「子育て情報」（150 人）となっています。年代別でも概ね同様の傾向でした。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
区役所窓口や開庁時間のご案内	220	9.9%	2	20	24	31	54	30	31	19	9
子育て情報	150	6.8%	3	22	41	42	20	10	8	1	3
防災・防犯情報	426	19.2%	3	25	36	65	96	58	90	38	15
くらしの情報（手続きや各種相談のご案内）	579	26.1%	6	40	44	83	125	85	116	66	14
募集・催し（イベントや講座のご案内）	296	13.3%	4	10	27	62	68	38	56	20	11
健康情報（予防接種や各種検診のご案内）	486	21.9%	3	22	37	67	99	71	113	53	21
その他	19	0.9%	0	1	1	4	5	3	0	3	2
無回答	42	1.9%	0	2	1	2	2	7	8	15	5
合　　計	2,218	100.0%	21	142	211	356	469	302	422	215	80

【問 15】　区政（市政）に関する情報はどちらから得ていますか？　（複数選択可）



「広報紙「広報ひらの」」が 716 人と最も多く、次いで「チラシ・ポスター」（163 人）、「平野区役所ホームページ」（144 人）、「大阪市ホームページ」（129 人）、「知人・友人を通じて」（107 人）、「広報板」（94 人）となっています。今後も魅力ある広報紙づくりに取り組むとともに、広報内容に応じて様々な媒体を使い分けることで効果的な情報発信に努めてまいります。

項目	合計	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
広報紙「広報ひらの」	716	48.2%	2	28	50	102	141	116	159	84	34
広報板（平野区内・地下鉄駅構内）	94	6.3%	1	6	7	4	19	16	27	10	4
平野区役所ホームページ	144	9.7%	3	16	17	25	36	23	16	5	3
大阪市ホームページ	129	8.7%	2	18	14	18	33	15	17	6	6
平野区役所ツイッター	6	0.4%	1	0	1	2	2	0	0	0	0
平野区役所フェイスブック	3	0.2%	0	0	0	0	0	0	1	2	0
平野区役所子育て支援室LINE	6	0.4%	0	0	5	0	1	0	0	0	0
チラシ・ポスター	163	11.0%	1	10	14	18	22	23	44	23	8
区役所のロビーや担当窓口	50	3.4%	1	3	4	6	8	6	13	6	3
知人・友人を通じて	107	7.2%	4	11	3	14	11	8	33	19	4
その他	26	1.7%	0	1	3	2	7	3	4	6	0
無回答	43	2.9%	0	3	3	3	4	3	7	15	5
合　　計	1,487	100.0%	15	96	121	194	284	213	321	176	67

【問 16】　区政に関するご意見を自由にお書きください。

まちづくりが 58 件と最も多く、次いで防災・防犯（32 件）、福祉関係（30 件）、区政・区役所関連（22 件）、子育て・学校教育（21 件）、地域関係（20 件）となっています。

ご意見の内容（抜粋・要旨）

〔まちづくり〕

- オンデマンドバスの区域が広がりよかった。便利なので、これからも無くさず続けてほしい。
- オンデマンドバスの範囲をもっと早く広げてほしい。
- Osaka Metro 喜連瓜破駅に駐輪場が少なすぎる。一時預かりの台数が少なすぎて困っている。早急に駐輪場を作るようにお願いしたい。
- 大阪シティバスの本数を増やしてほしい。
- どこの公園に行っても同じ遊具しかない。ブランコやジャングルジムなど。もっと違う種類のものを設置してほしい。子供たちの遊びが同じようなものになってしまう。
- 公園が多すぎる。小さくても複数あると管理も行き届きにくくなるし費用もかかるので地区に１つ大きな公園でいいと思う。
- 年齢問わずゆっくりくつろげる大きな公園がもう少し多くあると、にぎやかで運動もできていいのではないか。
- 緑を増やす取り組みをしてもらいたい。戸外を眺めても、道を歩いていても、気持ちが穏やかになるような植物のあるところがあまりに少ないと感じる。
- 平野区は広いのに図書館が１つしかない。南のほうに住んでいると不便である。
- デコボコの道を整備してほしい。ベビーカー使用の際、スムーズに行けないこともある。
- 歩道がブロックタイプのため浮き上がってガタガタになり、つまずいたりとても危険だと思う。アスファルト一面舗装にしてほしい。
- 府道 179 号の自転車専用道路は大変走りやすいので､このような自転車専用道路が他の地域でも増えてほしい。
- 歩道がない通学路で交通量が多い箇所があるので整備してほしい。
- 平野区は歩道がない道路が多く、自転車も多い町なので、歩道を増やして安全を確保してほしい。
- JR 平野駅前から南側のスーパーマーケットに行く時に歩道がかなり狭いので車や自転車が走行して危険だと感じる。
- JR 加美駅（北側）の階段に屋根をつけてほしい。
- アーケード商店街の活性化をしてほしい。
- 何年も使われていない広い空地に商業施設ができてほしい。
- 他の区と比べて街の発展が遅い。人口が一番多い区なのに、地下鉄駅前の開発が進んでいないような気がするし、高速バスなどが発着しないのも残念である。

〔防災・防犯〕

- ローリングストックを実践しているが、バッグに着替えや日常品を入れたらストックの食料品を入れる袋等が重たくて、持ち出せるか不安である。
- 近年防災に関してメディア等で取り上げられていますが、いざとなると動くことができるのか、不安である。地域に合せた防災訓練等あれば参加したいと思う。
- 防災訓練等のスピーカーから聞こえてくる声が割れて聞こえるので何を言っているのか全くわからない。
- 災害時に高齢者や障がい者の人が速やかに避難できるような対策として、住宅や公共施設などの非常階段の場所などにすべり台またはスロープなどの設置をお願いしたい。
- 駅から帰宅するまでの街灯が著しく少ない。
- 子供の登下校の道(友達と別れたあとの路地)に防犯カメラと街灯を設置してほしい。

・　広い通り沿いには街灯が設置されているが、一歩、中の通りに入ると街灯がなく、夜はとても暗くて歩行者にとって危険なので、細い通りであっても街灯を設置してほしいと思う。（十字路以外の細い通りに暗い所が多いと思う。）
・　街灯は防犯効果が上がるブルーLED にするべき。
・　通学路に横断歩道やカーブミラー、信号をつけてほしい。
・　ここ最近、夜間パトロール等積極的に行って頂いている印象があり、ありがたいと思っている。
・　不審者も多く、子供達を公園等で遊ばせるのも不安。青パトだけでは不十分に感じる。
・　防犯に関する意識や行動について、SNS などの犯罪はよくわからない。
・　交差点が街路樹の雑草ですごく見通しが悪い。
・　住民のいないマンションの木は枯葉の処理に追われる。防災のためにも伐採してほしい。
・　小学生の登校について時間に遅れてしまった児童については保護が付き添うように決められたほうがより安全になると思う。1 人ぼっちで登校している子を見ると心配になる。

〔福祉関係〕
・　福祉の手続きは時間がかかりすぎて困る。寝たきりの家族がいるのでなかなか時間がとれない。
・　役所に行かないと福祉関係（介護）の新情報が告知されていないと感じる。
・　社会復帰の一助として、日雇いや内職を介護離職した人や引きこもりの人に紹介してほしい。
・　平野区は人口も多く高齢者も多くなっているので、高齢者が安心して暮らしていけるまちづくりに期待したい。
・　地域包括支援センターのことも知らなかったので、初めて家に来られた時に本当に信用していいのかわからずすごく不安だった。みんなが周知できる工夫をしてくれたら困った時とか利用しやすいと思う。
・　高齢者２人暮らしの場合で介護保険の申請をする程でもないが、通院や買物等の補助があると助かる。
・　障がいのある方への支援をもっともっと大きくあたたかく、広げていただけたらと願っている。

〔区政・区役所〕
・　区役所内の室温は外気温と考えて調節された方がよいと思う。外よりも区役所内が暑くて辛かった。
・　区役所の人は対応が丁寧で優しい。各課受付の対応が良い。
・　区役所のサービスが行き届いている。役所で誰に聞けばわからない時、すぐ声かけしてくれる。
・　電話や窓口で親切、丁寧な応対をしていただくのでこれからもより良く保ってほしいと願う。
・　各窓口に伺っても親切に対応してもらえるので安心する。年寄りには分かりやすい応答が時にはほしい。
・　区役所に行ったとき、親身になって教えてくれる人もいれば、知っていて当たり前という態度の人もいるので、すべての職員が優しく接してくれるとありがたい。
・　高齢者に親切な人が少なすぎる。窓口対応の人の知識に差がありすぎる。
・　平野区役所の駐車場が高い。
・　区役所駐車場を利用時無料にしてほしい。
・　区役所の駐車場、不正長時間駐車を除き有料は納得できない。
・　平日は働いているため、用事があっても区役所に行きづらい。休日など相談できる日を増やしてほしい。
・　来庁時、待ち時間が長いことがあり、特に福祉関係では身体の不自由な方もおられ、なるべく待ち時間が短くなればいいと思う。
・　区役所内にフリーWi-Fi を設置してほしい。

〔子育て・学校教育〕
・　平野区民の安心安全のまちづくりをめざし、子供たちの正義の心を育てていく学びを大切にしてほしいと思う。
・　子供を安心して育てられるような制度づくり、まちづくりをお願いしたい。
・　ヤングケアラーの実態を調査し、その子供たちの支援をしっかり取り組んでほしい。具体的にはケアマネー

ジャーの力をお借りして生活の支援、地域ボランティアによる学習支援など、今できることを１つずつ着実に本気で進めてほしい。
- 学校の図書室などの施設が利用できたらいいと思う。
- 小学校・中学校の１クラスあたりの人数をもっと減らしてほしい。
- 保育園に預けて仕事をしているが物価高などコロナでの減収のため、保育料がすごく負担になっている。低所得世帯だけではなく子育て世帯全体に何か支援をしてほしい。
- 子育てするにあたりもう少し支援してほしい。日に日に税金など上がる一方で、家計は苦しくなるばかりなので、支援に力を入れて活動してほしい。
- 平日の午後や休日に学校やその他の施設で子供も大人も交えた自習室の開放や語学の勉強会をすべきだと感じる。
- 子育て世帯を平野区で増やしていくような施策が少ないような気がする。
- 少子化がますます加速する中で、子供がほしいと思いながらも経済的理由で家族を増やせない世帯があまりにも多いように感じる。
- 平野区にある中学校に関してはインクルーシブ教育が、言葉や見た目だけになっており、実際は障がいに対する理解が低く安心安全な教育現場となっていないと感じる。
- 中学校にも給食室があればいいと思う。

〔地域関係〕
- 区民まつりの動員を増やすための何かいい案があればいいと思う。
- 地域活動協議会が主催する活動にはコロナ禍で中止されている場合もあり、今後コロナ対策をされていなければ参加しようとは思わない。
- 平野区はお祭りが多いと聞いているが、どちらかというと子供や子育て世帯の方に比重が高くなっている様に思う。高齢者も子供も両方幸せに暮らせるような平野区にしてほしい。
- 平野区の境界線近くに住んでいると区内の大きなイベント会場は遠くて行けない。
- コロナの影響で休止している地域活動等を再開してほしい。
- 地域活動協議会の活動に関してあまり知らないが、大々的に活動内容を住民に知らせてほしい。
- 地域活動として色々取り組みされているのは少し知っているが、活動に参加できる条件があるのか、年齢の制限など具体的にわかるようにしてほしい。
- 担い手の育成が重要だと思う。

〔広報〕
- 後期高齢者となり時代の進歩に追いついていけない。（例、インターネット、キャッシュレス、ペーパーレス等）日常生活で役立つような情報は紙面で分かりやすく発信してもらえると助かる。
- ホームページが見にくく、どんな活動や支援をしているのかなど調べたいのに知りたいことがなかなか知れない。
- 広報紙「ひらの」の文字が小さすぎで読みづらい。

〔生涯学習・人権啓発〕
- 生涯学習のために無料で借りることができる教室（場所）があれば助かる。

〔その他〕
- 平野スポーツセンターの器具を新しく使用しやすいものに入れ替えてもらいたい。
- 何事においてもスピーディにやってほしい。
- 瓜破霊園は業者が草刈りに来ているが、外から見えるところだけきれいにしており、霊園中はゴミだらけである。
- 静かな町にしてほしい。

- 区内に限らず市内の比較的大きめの公園では、野外でバーベキューをできる場所として指定されていないにも関わらず桜の時期等に無断でキャンプやバーベキューをされている方が多いので、一部エリアを区切って管理事務所を設置し、水道の使用なども有料にして公営でバーベキューをできる所をふやせばよいと思う。
- 高速道路の高架下や比較的大き目な公園の外構、配水場下水処理場の外構は、日中でも暗い感じで鬱蒼としていてゴミの不法投棄があったり、防犯上危ないと思うようなところが多いと思う。整ったところに季節の代表的な植物（花）を植え、一部公園等であれば、そのエリアの入場も有料制にし、その料金を公園等の管理費用にまわせばよいと思う。また、SNS 等を使って定期的に（公園や地域の方が集まるところを中心に）ボランティアで地域の方々によるゴミ拾い等を募集する取組み等されたらよいと思う。
- 体を鍛えるために歩かなくてはと思うのだが、実践できていない。楽しく動ける企画を考えてほしい。
- ゴミや不用品の放置が目立ちますので対策を考えてほしい。
- 犬を飼う人のマナー改善（排泄物の処理）について、対策の必要性を感じる。
- 子供の衣類やおもちゃ、未使用の日用品などをリサイクルしてほしい。 秋にコミュニティプラザ平野(平野区民センター)で開催される、ガレージセールをもっと回数を増やしてもらえたら助かる。
- 平野区はとてもペットが飼いにくい様に感じ、市営住宅や府営住宅周辺を歩いているだけで水を掛ける真似などされてとても不愉快な思いをしたり、散歩をしているだけですごく気を使わなければならない。マナーを守ることは前提であるとしても、もっとペットに優しいまちづくりもしてほしい。
- 粗大ごみをもっと自由に出せるようにしてほしい。